

日本のキャリア教育に求められるもの

上越教育大学大学院発達臨床コース助教授 三村隆男

1 キャリア教育導入の経過

(1) キャリア教育の登場 (1999年12月)

「キャリア教育(望ましい職業観・勤労観及び職業に対する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育)を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある。」(中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続改善について」)

(2) 「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」の提示 (2002年11月)【参考1】

(国立教育政策研究所生徒指導研究センター『児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)』)

(3) フリーター417万人 (2001年)と『国民生活白書』(03年5月、内閣府)が発表。

(*)「2004年版労働経済白書」(04年9月、厚生労働省)がフリーター217万人、ニート52万人と発表。

(4) 若者自立・挑戦プラン (2003年6月) 若者・自立挑戦プランの推進

文科省、厚労省、経産省、経財政策担当大臣により新キャリア教育プランが打ち出される。

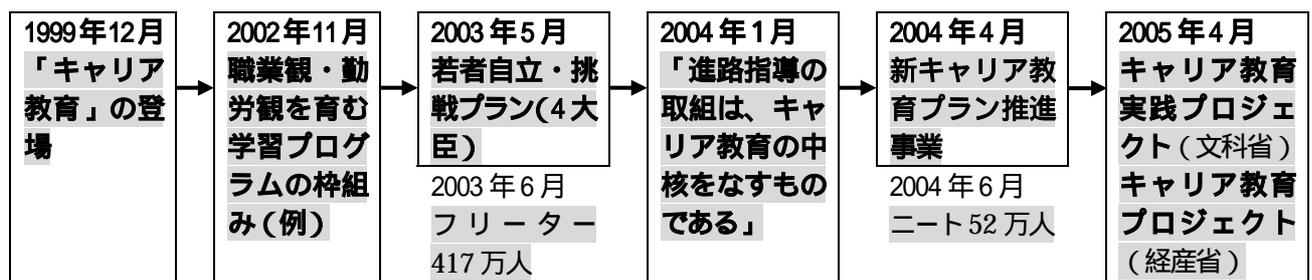
(5) キャリア教育と進路指導の関連明示 (2004年1月)

「進路指導の取組は、キャリア教育の中核をなすものである」『キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書～児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために』

(6) 文部科学省「新キャリア教育プラン推進事業」(2004年4月)におけるキャリア教育推進地域(小・中・高等学校の一貫)の指定。45地域、小学校110校、中学校86校、高校80校合計276校が指定を受ける。

(7) 若者自立・挑戦プランの強化(平成17年度から)

- ・中学生等の勤労観、職業観育成のための地域支援のシステムづくりを行うキャリア教育実践プロジェクト
- ・小中高からの働く意欲醸成のため、地域や企業が連携しビジネス体験を行うキャリア教育プロジェクト



2 キャリア教育実践の進捗状況(事例紹介)

- (1) 静岡県沼津市立原東小学校...小学校6年間によるキャリア教育を実践した最初の小学校
- (2) 広島県尾三地区...平成13年度より「小中高連携教育推進実践モデル地域指定事業」+推進指定
- (3) 富山県氷見市立一割小学校...全国花いっぱいコンクール毎日新聞社賞、縦割り集団による勤労生産的活動
- (4) 北九州地区、北九州市立泉台小学校...平成12年度より生活科・総合の教科の連携の成果+推進指定

3 共通の疑問から日本のキャリア教育に求められるもの

- ・「自分たちがやっているのが果たしてキャリア教育にあたるのであろうか。」「キャリア教育とは何か。」
- ・「職業二関スル理解ヲ得シメ勤労を重ムズル習性ヲ養ヒ始メテ教育ノ本旨ヲ達成スル」(1927年)
- ・「吾人は職に真に人を生かしむべく、直接輔導の任にある者」(1918年)